



町立幼稚園の園児たち

まちづくり施策の 速やかな実行を



質問者
寺嶋 正 議員

① 平成26年10月1日から、町役場組織の機構改革により10課2担当室となった。重要施策を進めていくにあたり、迅速に対応することで町民サービスの向上を図ることが肝心であるが、取り組みの姿勢を伺う。

② 限られた財源の中で、人件費の抑制や時間外労働の解消、賃金や委託料の削減など、行政改革における財源確保の取り組みは。

持った職員を育成し、重要施策を円滑に推進するための部署を設置した。

② 第5次行政改革においては、仕事の改革・職員の改革・組織の改革の3つの柱により計画策定する。事務処理手順のマニユアルの作成及び見直し、ペーパーレス化等を進めることで、事務処理

時間の短縮と経費の削減が図られる。

③ 新たな施策としては、水道料の基本料金の補助。民間保育園の延長保育に加え、町立幼稚園でも延長保育を実施する。学童保育は、松田小学校に1教室の増設を行うため、改装工事を予定している。

A 迅速に対応することで 町民サービスの向上を図る 回答 (町長)



① 施策の執行にあたっては迅速に対応することで、町民サービスの向上を図る。課を分けることで業務の知識を高め、課題を解決するアイデアを

自転車等の安全走行及び バリアフリーについて



質問者
石内 浩 議員

自転車が双方向に通行できた道路の路側帯が、法改正により車と同じ左側通行に限定されるなどの変更がされたが、わかりにくい。

② 車椅子・白杖などの身障者・高齢者への対応も、同時進行と思われるが具体的な配慮は。

① 歩道・路側帯・車道

③ 小田急新松田駅南口のエレベーター設置工事は、いつになるのか。

A 他町とも協力し 交通弱者のための 安全を確保 回答 (町長)



① 自転車の路側帯(道路の端の白線)での通行は、今までは左右とも通行できたが、法改正(特例を除く)で自動車と同じ左側通行となった。このため、小中学校での新ルール徹底は勿論、一般の方々へは、警察や交通指導隊による街頭指導広

② 白杖使用者・電動車椅子・高齢の歩行者など、交通弱者への心遣いについても、近隣市町との協力、実態に詳しい自治会長に意見を求め、対応できることから実施に移したい。

報などが実施されている。また、狭あい町道の歩道整備も含め、継続して交通ルール順守運動に努めていく。

③ 南口に設置予定のエレベーターは、既設のものと同型式で、高齢者・障害者・子育てのお母さん方のためにも、早期完成を目指す。



小田急線新松田駅エレベーター (下り線ホーム)